

要はない。しかし労働組合がクロズド・シヨツプの實行を迫り其れが僱主の認容せらるゝ處となり、集合契約が完全に行はるれば其れ以後は僱主と労働者と協議しつゝ労働に従事するだけならばクロズド・シヨツプの價値は極めて微少なるもので、労働組合政策としては殆んど留意するに足らないものである。しかるに若しクロズド・シヨツプの要求の根據が之れに依つて労働組合の團結を愈々鞏固にして、總ての労働者をして其進行に參與せしめ、工場管理權の獲得に一步近づかしめ、遂には生産の管理統制の全般を労働者の手中に收得せんとする點に基づくものであるならば、クロズド・シヨツプは労働者解放運動の機關たる労働組合政策として階梯的價値はあらざるべからざる。

纏つて労働組合運動の未だ初期時代で、従つて労働組合の基礎の極ましい程薄弱な我國ではクロズド・シヨツプの主張處では無い。労働者の團結組織ものも未だ事實に於ては確立されて居らない。故に我國の雇主が自ら進んで労働者の集合契約權を尊重してクロズド・シヨツプを實行する様な奇特なものも勿論ない。尤もいゝ加減な半ば虚偽的な御爲ごなしの雇主のクロズド・シヨツプはない方が千萬よい。要するに我國現在の雇主は容易にオープン・シヨツプでもアンチ・ユニオン・シヨツプでも勝手なシヨツプを支持する事が出来得る。恐らくは歐米の資本家が羨望して止まざる幸福なる時代である。資本主義の横暴極りなき、資本家萬能の米國でも資本家連がオープン・シヨツプを固持せんが爲めには非常な不満足かつ高價